

第6回 F-navi 若者リサーチ

わたしたちは
若者の声を
しらべます！

若者の「定額給付金制度」に関するアンケート調査

定額給付金を「受け取るか」 “受け取る” 96.0% “受け取らない” 4.0%

定額給付金の「使い道」 1位“貯金”(30.5%) 2位“生活費”(24.3%)

“2兆円は他の政策に使うべき” 69.3%

1位“福祉・介護”(22.3%) 2位“雇用対策”(18.6%) 3位“医療”(15.5%)

定額給付金の財源を確保する第2次補正予算関連法案が、4日の衆院本会議で再可決され、成立しました。法案成立に伴い、一部の自治体でも順次給付金受け取りの申請受付が開始され、物議を醸した定額給付金制度もいよいよ実施段階に入りました。同制度は景気に一定の効果をもたらすのか、それとも単なる「バラまき」に終わるのか。今の若者は「定額給付金制度」についてどのような意見を持っているのでしょうか。

自立人（フリーター）協会では、WEBサイト「F-navi」上でアンケート調査を実施し、「若者の“定額給付金制度”に関する意識」を探りました。

調査概要

調査目的： 若者の「定額給付金制度」に対する意識を探る

調査対象： 主に20代を中心とした若者

調査場所： F-navi (Webサイト)

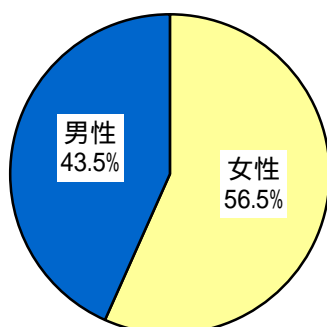
調査時期： 2009年2月27日～3月3日

サンプル数： 329件

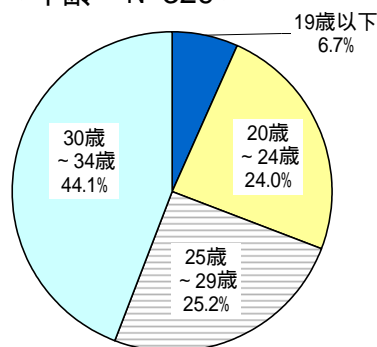
調査方法： Webアンケート

調査対象プロフィール

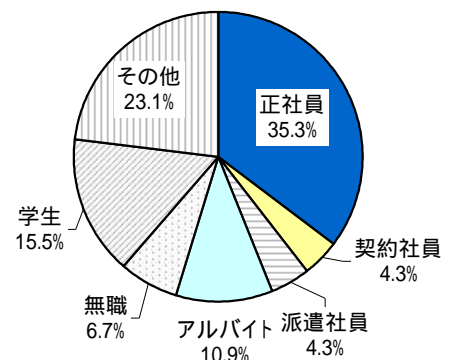
<性別 N=329>



<年齢 N=329>



<職業 N=329>



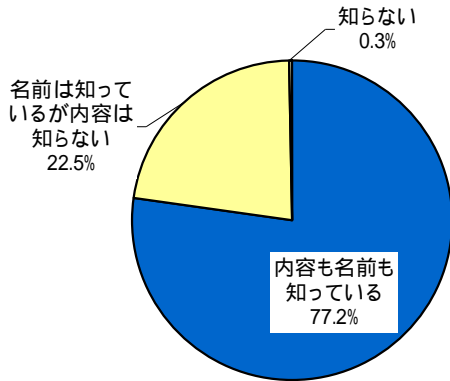
報道関係者お問合せ

株式会社パソナグループ 広報室
担当 / 平野、根本

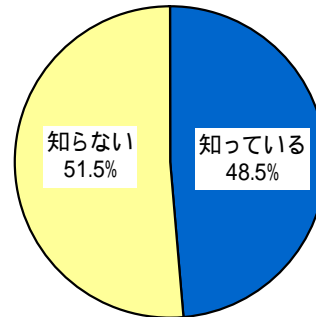
TEL : 03 - 6734 - 0215

MAIL : p.kohoshitsu@psonagroup.co.jp

定額給付金制度の認知度（N=329）



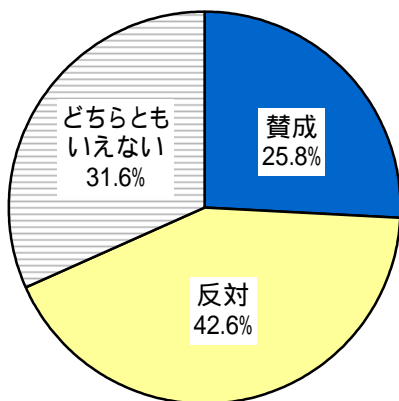
定額給付金の受け取り方の認知度（N=329）



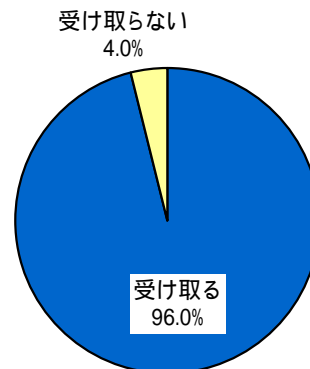
「定額給付金制度の認知度」について尋ねたところ、回答者の77.2%が「内容も名前も知っている」と回答したが、「定額給付金の受け取り方の認知度」については、「知っている」との回答は48.5%と5割弱にとどまった。

制度の認知度は高いが、受け取り方についてはまだ十分に浸透しているとはいえないようだ。

定額給付金制度の賛否（N=329）



定額給付金を受け取るかどうか（N=329）

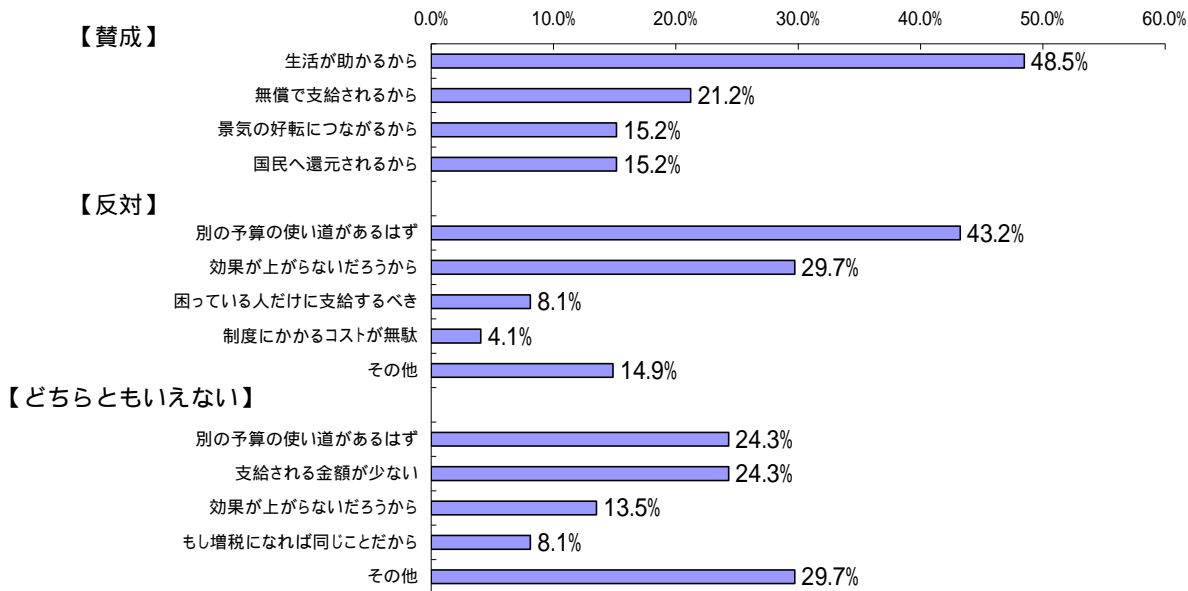


「定額給付金制度の賛否」について尋ねたところ、「反対」が42.6%と「賛成」の25.8%を上回った。また賛否決めかねる回答も31.6%を占めた。

一方、「定額給付金を受け取るかどうか」について尋ねたところ、96.0%が「受け取る」と回答した。

制度の賛否に関わらず、受け取ろうと考えている人がほとんどであることがわかる。

定額給付金制度の賛否の理由（賛成 n=33 反対 n=74 どちらともいえない n=37）



定額給付金制度の賛否の理由について自由回答方式で尋ねたところ、【賛成】では「生活が助かるから」とした意見が最も多かった。【反対】では「別の予算の使い道」を挙げる意見や、「定額給付金制度では経済効果が上がらない」などの意見が特に多かった。

「2兆円の予算をかけて実施して、果たして金額に見合った効果が上がるのだろうか」と、制度の有効性を問う意見が多かった。むしろ、それだけのまとまった金額を別の政策に役立てるべきではないのか、といった意見も多く見られた。

【賛成】の意見

- ・自分の明日の仕事も生活も見えない状態なので、この不況を少しでも生き延びるために、すごく欲しい。
- ・不正に議員の飲み食いに税金を使うのなら、市民に還元する方が喜ぶ人はたくさんいると思う。
- ・貯蓄にまわす人もいると思うが、消費に使う人もいると思う。

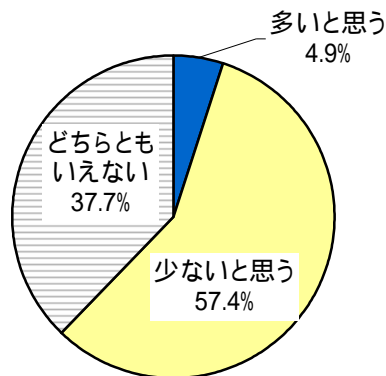
【反対】の意見

- ・景気対策としては金額が少なすぎて効果は期待できない。生活困窮者への救済措置であるならば、所得に関係なく配るのはおかしい。税金はもっと効果的に使ってほしい。
- ・使いどころが違う。時間が経つにつれ、不況の深刻さが増し、解雇も多くなったので、生活できない人たちへの支援だったり、福祉だったり、学校の建て替えだったり、大きな金額がなければできないことに使うべき。
- ・消費されず、預金や借金の返済にまわると、経済的効果が薄い。財源がないきびしい時に効率がよいとはいえないと思う。

【どちらともいえない】の意見

- ・給付金を貰っても、今後、消費税や税金等が上がる可能性があるのなら、給付金がない方が良いと思う。
- ・元々は国民の税金なので、還元してもらおう事はうれしい。しかし、増税ありきの還元（給付金）なので12,000円では、効果はほとんどないと思う。300,000円位の給付なら消費にも反映して効果が出ると思う。
- ・もらえるならもらいたいけど、12,000円ではたいした事はできないので。

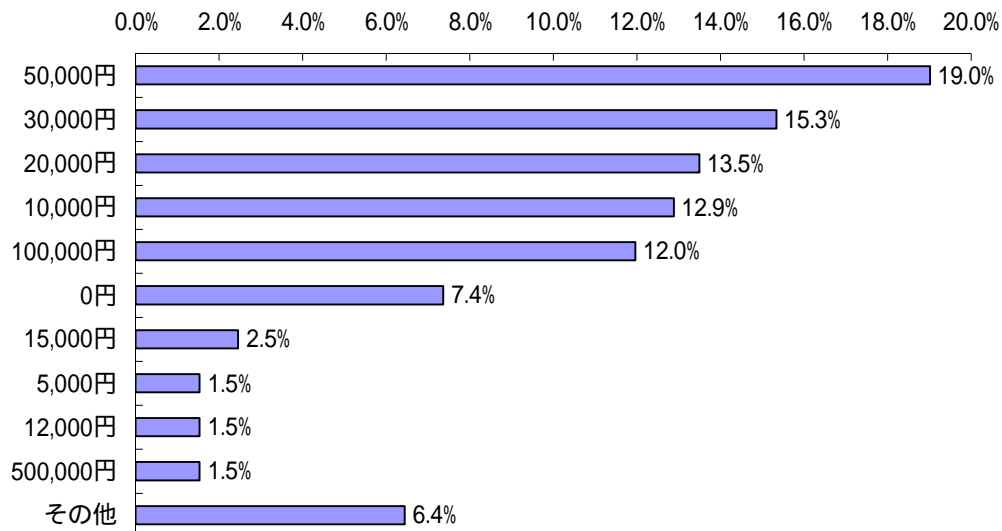
定額給付金 12,000 円の金額について (N=329)



「定額給付金」で支給される 12,000 円の金額について尋ねたところ、57.4%が「少ないと思う」と回答した。「多いと思う」という回答は4.9%にとどまった。

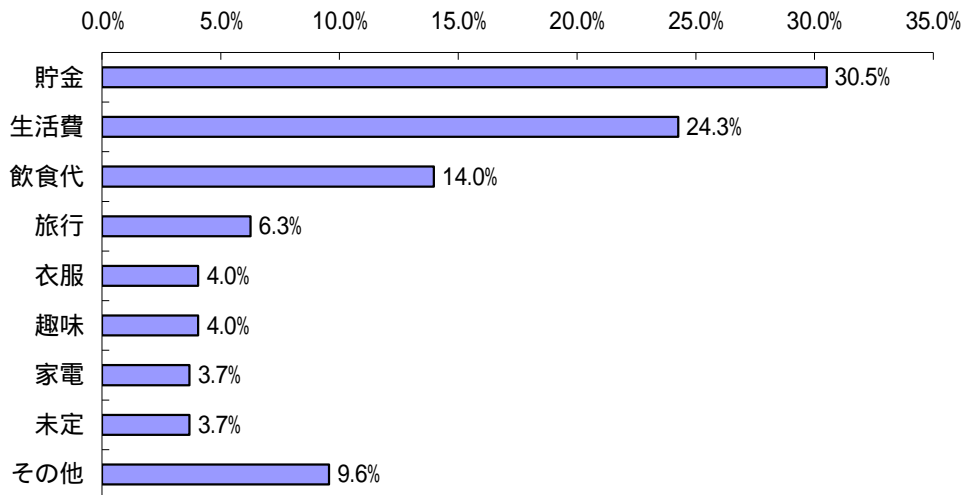
景気対策としては支給金額が少ない、と感じている人が多いようである。

定額給付金が最低でもいくらあれば少ないと感じないか (N=305)



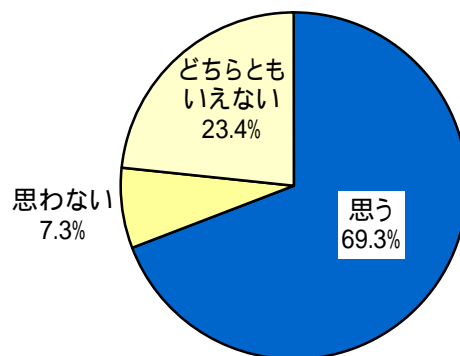
「定額給付金が最低でもいくらあれば少ないと感じないか」について自由回答方式で尋ねたところ、「50,000円」「30,000円」など、支給額である12,000円より高い金額を挙げる意見が圧倒的に多かった。

定額給付金を何に使うか (n=272)



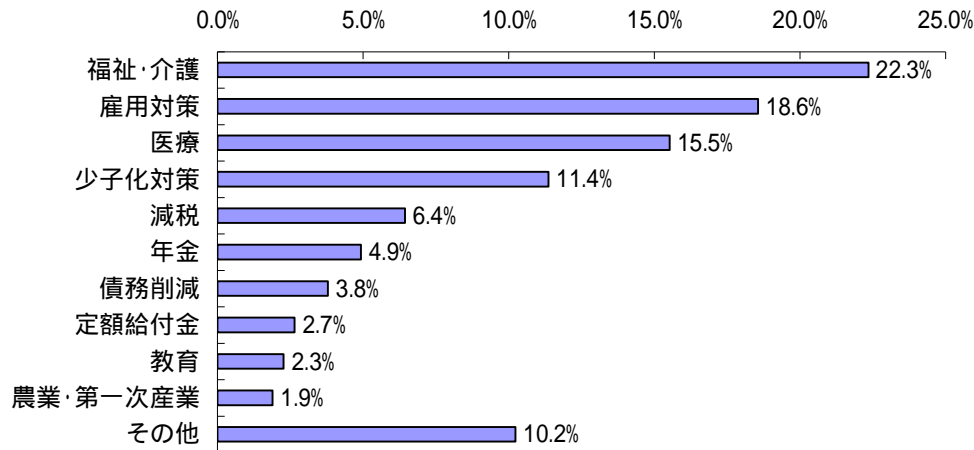
「定額給付金を何に使うか」について自由回答方式で尋ねたところ、「貯金」が最も多く30.5%、「生活費」が24.3%、「飲食代」が14.0%と続き、「貯金」を考える人が多いことが伺えた。

定額給付金に用いられる2兆円の予算を他の政策に用いるべきと思うか (N=329)



「定額給付金に用いられる2兆円の予算を他の政策に用いるべきと思うか」と尋ねたところ、回答者の約7割（69.3%）が、「（他の政策に用いるべきと）思う」と回答した。

2兆円の予算を用いるべき政策（n=264）



「定額給付金に用いられる2兆円の予算を、具体的に何の政策に用いるべきか」について尋ねたところ、「福祉・介護」（22.3%）、「雇用対策」（18.6%）、「医療」（15.5%）などを挙げる意見が多かった。

【 政策に対する意見 】

- ・医療と福祉。人間は働けなくなった時に困るもの。その時こそ、手厚い国の保護があれば、安心して働ける国になるし、やる気もでる。きちんと税金を納めておいて良かったと実感できるのでは。
- ・若年層の雇用や少子化対策。若年層が働きながら子育てができる環境づくりをしてほしい。また、離職者に対する支援なども充実させてほしい。
- ・介護業界で従事されている人の給料や、介護者の負担の軽減又は年金支払い金額の見直し、高齢者の怪我や病気の治療にかかる費用の削減。
- ・2兆円の国家予算を使う事によって、失業者を短期間でも救う事が出来るのであればいいと思う。
- ・少子化対策や、お年寄り、身体の不自由な人など、社会的弱者の福祉に役立てるべきである。
- ・とりあえず、国の借金を返したほうがよい。
- ・医療、介護分野。産科医や小児科医、救急救命医の待遇改善、介護士の報酬を増やすなど。